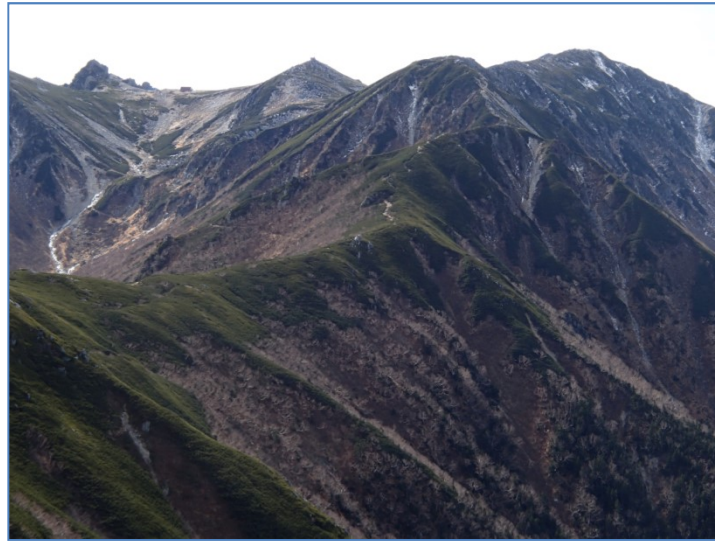


権現づるねを辿り将棊頭山へ

日程：2015年 11月 1日

メンバー：矢澤昭文、Kさん

報告：矢澤昭文



山頂からの宝剣岳から木曾駒ヶ岳にかけての風景

六甲の全山縦走コースは 56 km である。そのトレーニングのため長いルート歩きたかった。アプローチの良い中央アルプスの将棊頭山を、権現づるねを辿ってピストンするルートのコースタイムは 14 時間余り、さらに足を延ばして一気に木曾駒ヶ岳までのピストンならプラス 3 時間 30 分。そこまではさすがに無理でも、将棊頭山までなら行けるだろうと思い、これに決めた。

11 月に入ったばかりの日の早朝、伊那スキーリゾートまで車でやって来た。スキー場の左側に、さらに奥に向かって林道が伸びていた。舗装されていたが進むに連れ道幅が狭くなった。不安を感じ、途中のやや広い路肩に一旦は車を停めたが、車から降りて歩いて林道を奥に進むと道幅がまた広がっていた。再び車で奥に向かった。するとスキー場の最上部に出て、そこに駐車場があり古い板の看板に「登山者駐車場」と書かれていた。そこから数 m 先に権現山登山道の標識があった。初めてのルートは登山口までがよくわからないことが多く、時間をロスする。今回もそうだった。空はすっかり明るくなり、結局出発したのは 7 時を少し過ぎていた。

登山道に入るといきなりの急坂でジグザグ道が続いていた。土俵跡という標識に出会い、道はそこで右に折れていた。昔ここで相撲をとったのだろうか、わざわざこんな山の中まで入って相撲をとるのかなどと試してみる。急なジグザグ道が続き「登山道 2 合目より常輪寺へ」と書かれた標識の立つ所に出た。ここが古道との合流地点だった。そこから 10 分余、急坂を登ると権現山に着いた。東側に展望が開け南アルプスが広がっていた。

権現山からは、少し下ってはたくさん上るといふ山道が繰り返した。それが長い尾根道の始まりであり、単調な登行、変わらない景色がずっと続くようになった。「板沢の頭」という標識の所で立ち止まっていると、軽装の単独行者が追い付いてきた。「こんちわ、トレランですか？」と聞くと、地元の人で自宅から走って来たという返事だった。きょうはこの先の辻山までのピストン、その辻山の手前は景色がいいとのこと。しばらく進むと、なるほど素晴らしい展望の所に出た。そこに「五合目」の標識があった。八ヶ岳連峰が蓼科山から編笠山まで見えた。そして南アルプスが広がっていた。眼下には伊

那市街があった。

再び樹林帯に入って行った。展望の得られない広い尾根を進んだ。木々の豊富な山道は自分に心地よさを与えていた。クマが出そうな所はたくさんあったが、その不安とは別にいのちを感じていた。そんな思いもつかの間、それまで以上の急坂が前方に出てきた。遅いペースとなったが登り切った。そこが八丁立だった。昼食とし長い休憩をとった。

再び歩き出した。高度は 2,500mを越えているのに、まだ森林限界には達しない。時折木々のすき間から大樽避難小屋から胸突ノ頭に延びる尾根や、北アルプス等が見え隠れしていた。北アルプスの山々には白くなっている峰も見えた。次第にハイマツが増えてきて、森林限界を越えるのも間もなくだと思えた。そして一気に視界が広がった。目の前に大きな山塊の伊那前岳、その右に鋭い岩塊の宝剣岳、さらに右にカール地形を挟んで中岳があり、その右端に馬ノ背の尾根と駒ヶ岳が威風堂々と聳えていた。毎年5月に、東京のメンバーと一緒に目にする風光が広がっていた。将基の頭に出たのだ。そこからは岩がゴロゴロした平坦な道が続いていた。眼下に西駒山荘が見えてきた。西駒山荘に下り立ったが、休むことなく山頂に向かった。12時、将基頭山の山頂に立った。南アルプスの背後に富士山が頭を出していた。北アルプスが白く輝いていた。御嶽山が大きく立っていた。薄曇りの空の下360度の展望だった。山頂は風があり身体が冷えつつあった。5分も経たないうちに下山することにした。天水岩の水はカチンカチンに凍っていた。高い山は初冬である。西駒山荘に寄り冬季小屋に入ってみた。快適な内部で20名ほどは泊まれる広さだった。小屋を後にして一気に下った。

権現山まで下り、上りの時には気付かなかったが「明治二十四年W・ウェストン登山道」と書かれた古い板があった。そこから少し下ると、この時刻に登って来る人に出会った。地元の主婦だった。20分程のおしゃべりに付き合ってから登山口まで下った。紅葉の中、15時20分に駐車場に着いた。天気にも恵まれ良い山旅となった。

※ 「づるね」とは尾根のことをいうようだ。

※ 西駒山荘は2014年8月に新しく建て替えその際に冬季小屋を作ったようだ。

※ 明治24年ウォルター・ウェストンが木曾側の上松から駒ヶ岳に登頂し権現づるねを下山したようだ。

<コースタイム>

7:10 スキー場上部の登山口→8:20 権現山→12:00 将基頭山→12:15 冬季小屋

~12:30 冬季小屋→14:35 権現山→15:20 登山口